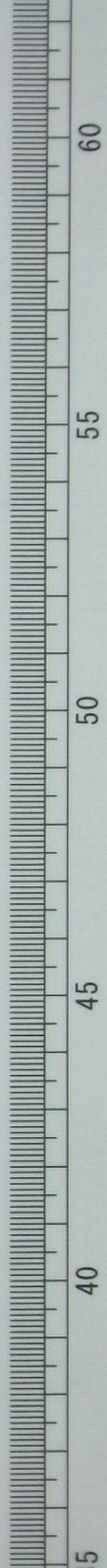




小倉文庫 特
イ 16
18



門 116
號 18
卷

塵劫記卷之五 五月録

外五二
外五三
外五四
外五五
外五六
外五七
外五八
外五九
外六十

まゝ子えんの事

ひまゝえんれ事

ひまゝく一ふいの事

く寸さんれ事

金千枚派千枚と四方よほりり事

きぬ一たんれいとうされ事

日本國中男女のつりりの事

六里と四人きてむま三正一の事

あゝりりりりりりりりりり事

蔵書印

昭和二十七年
六月二十日
受入

才五二

才五二



才五二
 才五三
 才五四
 才五五
 才五六
 才五七
 才五八

きぬぬ守人をとらる事
 而五けんのか事
 材来うりくひのか事
 ひまふまら付竹かこりの事
 や祿あきつこの積付こうむいのひる
 開平法北事
 開平田法のか事
 開立法北事

子可入を内十五人は父脈する十五人の為脈なること
 立すべし十五あるをのけて又十五あるをのけた人
 まのけは一人はわをゆづりまのけの時まの母の
 ことごとくたるまのけを父脈の子十四人のこと
 一母の二がひくを父脈の子まのけのこと
 一人はくまのけまのけのまのけの二
 まのけのまのけのまのけのまのけのまのけの
 まのけのまのけのまのけのまのけのまのけの

中世三 孫子子孫のりれ次男



四

生四千百十六ひきり

合四千百二ひきり

五

生二万八千百十二正

合二万二千百十四正

六

生二億千六百八拾四正

合二億三万五千九十八正

七

生一兆四億一千万七百万八千

合一兆六億四万七千八十六正

八

生九兆八億八万二千六百十六正

合一兆一兆五億二万九千六百二十正

九

生六京九兆一億七千万七千六百十二ひきり

合八京七億七千万七千六百十二ひきり

十

生四垓八京四兆二億四万三千二百八十四正

合五垓六京四兆九億五万四千九百八ひきり

十一

生三秊三垓八京五兆七億二千万八十八正

合三秊九垓五京四兆六億五万三千四百八十六正

十二

生二穰三秊七垓二京七兆九億二万九千十六正

合二穰七秊六垓八京二兆五億七万四千二百正

正月よ福あむ父母のてく子と十二正の時

父母子とりの十四正よ成之け為まると二月よい

子も子をうむゆへよとや子せよ九孫八正又版
めけ月よ一交つうむ時り一年のりり
孫をこれあずもなふれりりるりたし同時
○合二穰七種方塊八京二兆五億七千万四千四百二正
はよ孫す足二正り七と十二はひくう孫右と
よとちるべし



右をゆあさるうがさるふれくつぐぞとちるあ時

○七七粒八万八千六百五拾四里廿三町廿八寸と
一里ハ 卅六町ろり 一町ハ 六十ろり
一町ハ 六尺五寸と 〇五とのも四寸と



ひよく一たいの事



芥子一粒をひよく一たいの事



但一本は四百五粒入つり

合一石三斗四升二合と文七支七棍二圭ハ粟よぬ
右に教ハ

五万三千六百拾七万九百十二粒とるゆ
せに一又とひよく一たいの事



但九拾六とるゆ

合五拾五万九千九百四拾五百廿二又目淺廿一
右に目淺二万二千三百五拾五萬六千廿又と

五万三千六百九十七万九千九百九十二粒

大豆一粒とひよく一倍りて

但一斗よ五千粒入はりて

今千七拾三名七斗四斗一合又二斗四撮より

右の如しハ

米の敷と回あ

芥子一粒をひよく一倍りて

但一斗よ四百粒入はりて

合百四拾万七千三百七十七斗四斗一合五斗

五斗三撮二斗八粟よ成

右の如し 五載六正二淵九瀦四糶九種九塊五京

三兆四億二万千三百十二粒あり

右の如しを解法よりて

長三十一尺四寸二分九厘二毛五糸

横ハ右と回あ

立も右と回あ

六

けー一粒とひよく二をいりて

百廿目のあす

谷六倍六万四千六百十三極九載九正七個八溝
九稜二稀四油該五京七兆九億二万六千四百廿
一極九載零三三五溝三稜冷一該四京冷一億七万
二千二百八十八粒

右のあす開立法よりて

と拾五万五千三百九十二里九町二尺七寸二分二リむ毛

横も右と同あす

立拾五万五千三百九十二里九町二尺七寸二分二リむ毛

○三十六町 一里と ○六十万と 一町とひよ

○六尺五寸 一万と ○ア分よ芥子四粒りる

右よりあまわりしと開立法よりて

○十五里三町卅六万二尺三寸二分 立横と同あ

○四十万五尺四寸二分二リむ毛 立横とせよ

○ひ尺七寸二リむ毛 立横と

○七分二リむ毛 立横と

○三分 立横と

○一分七リむ毛 立横と

○七リむ毛 立横と

右よりあまわりしと開立法よりて



右けー一粒百六目よひよく一たののあ守を

百里四方のちり守はせりりめて見水も

○三万七千五百廿一万字千八百零二石二斗

九斗七合三夕六又一撮三匙七粟余ありこ

第九五

く寸さんの事



九百九十九ものく寸の九百九十九ううて

一もれく寸の九十九く入つくまはくはく入

わも也てふふ引くをそととふとまき

○合九塊九煎七兆下下二千九百九十九く

はよ九百九十九とり九百九十九く入を垂て

くくく九百九十九下下一く入とぬくくく又

のう九百九十九くくくく

九塊九煎七兆下下二千のう九十九く入こ



同九十九もれく寸が九十九く入つく九十九乃

くくくはてまくもなふやとくくくくくの時り

○九十七万或百九十九く入るわ

まもあくと同あかあり

卯六

金子千粒を開立法にして

○七寸三分一リ一毛五糸

○横六寸三分一リ一毛五糸

○立六寸三分一リ一毛五糸

但寸四方一而七拾五糸をとりて

は金子千粒の重さ四拾八目ありこれと

百七十の重さをしては六寸四分一リ一毛五糸とあるは

一様四分二リ一毛五糸七忽一よなるにあらは

開立法を用ひて六寸三分一リ一毛五糸とあるは

金子千粒を開立法にして

○七寸七分四リ七毛

○横六寸七分四リ七毛

○立六寸七分四リ七毛

但寸四方百四拾目をとりて

は金子千粒の重さ四十三目ありこれと

百四十目にしては六寸四分一リ一毛五糸とあるは

四リ二毛八糸五忽七一よなるにあらは

は六寸七分四リ七毛とあるは

九七

きぬたてぬきれがさる事

○立のせき 四里十一町四万四尺

○ぬきのせき 二里世五町世一万一尺三寸

二口合七里十町世五万五尺三寸

は、立の敷千首すぢりしてきぬ一ふん此
立のろがさ二丈八尺一尺三寸にして三丈三尺
六寸ありろりしれよ右のチり首すぢりして
六千四拾八丈よ成これと六尺五寸にしてわぬ
九千三百四万四尺よ成これと六拾万てわぬ
百五拾五町四万四尺よ成これと世六町少て

且れい四里十一町に成四尺よ成り○又ぬき
ろゆくでろり一尺三寸ろりしてろり一尺五寸
六分あり又ア分り八寸ぢありほりろりして
一尺五寸六分り八寸ぢとろりれを一丈二尺
四寸よ分よなるあれよ三丈三尺六寸をわぬ
四千百九十三丈二尺八寸ろりろりなめこれ
六尺五寸て且れい六千四拾万一尺一尺三寸
ろりろりろりろりろりろりろりろりろりろり
一尺三寸ろりろり又是を世六町にしてろり
二里世五町世一万一尺三寸ろりろりろり

日本國産く〜ノリソ

○男數 拾九億五千万四千八百廿八人

○女數 廿五億四千八百廿八人あり

二口合四十八億九千万九千六百四十八人

右ノひとづ方ニ坐トモキヨミヨルンげん

四方ノ電トモ時

○モキ十町世八万六尺四寸一分三リ

○ヨコ十町世八万六尺四寸三分三リ

はよ一坪ノ十二人ツヅクヨツツリノモ

四十八億九千万九千六百四十八人を十二人にして

ヨコトモキ四十万八千六百四坪ノカヨ

開平法にしてヨコハ六百廿八尺九八六六五と成

けけんヨリ下ヨ六尺五寸をヨコハ六百廿

八万六尺四寸一分三リとモキ六十町でヨコハ

十町世八万六尺四寸三分三リ四方トモキ

右ノ人数四十八億九千万九千六百四十八人

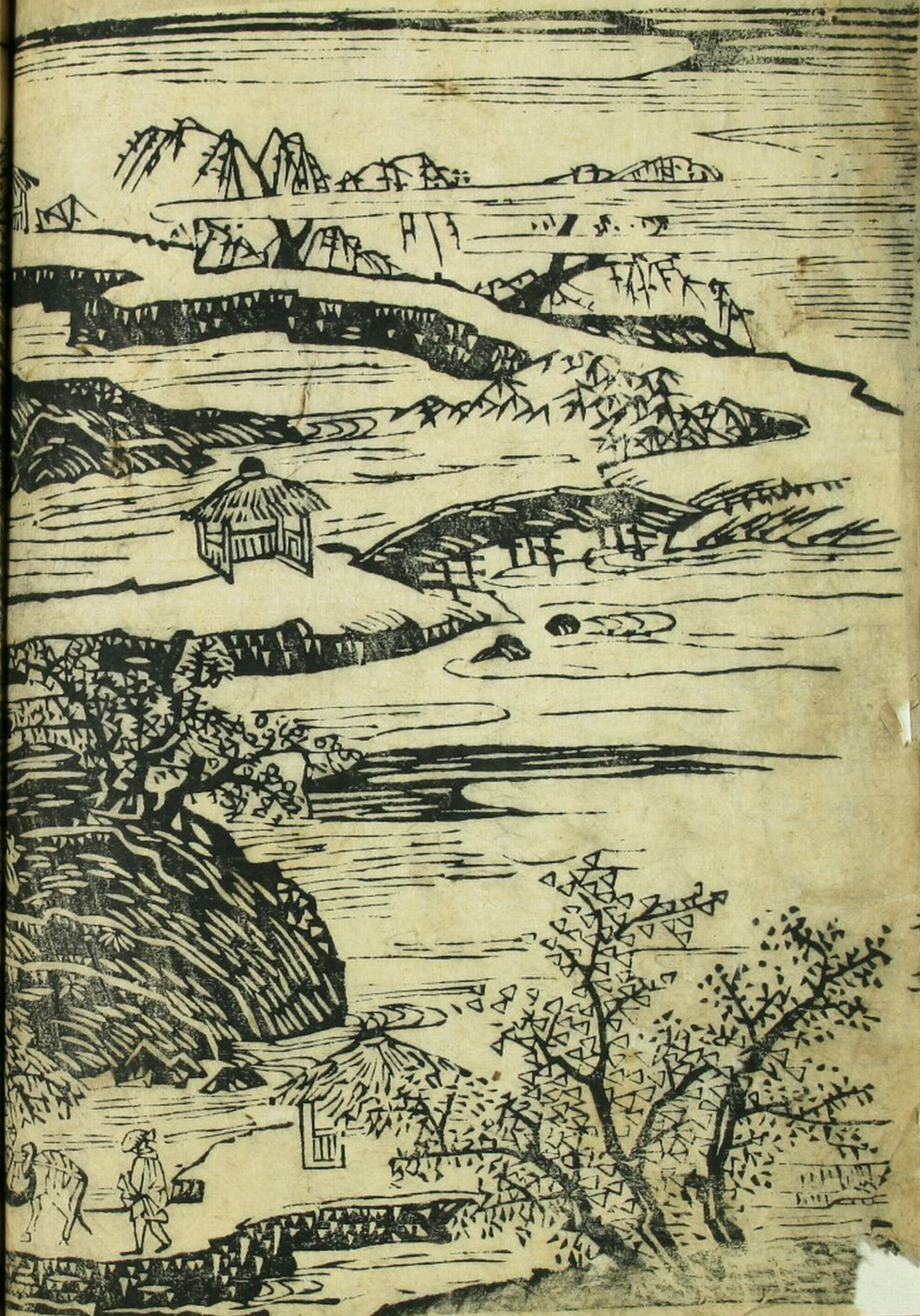
一人およ一月ノめヨモシマイヨリ一月

○二万四千四百九拾ノモキ

又一年のヨコ

○ヨコ七拾七万二千三百七拾

ノモキ



はよまらみらせふかたあつちかたむま
 こころはあつちかたあつちかたむま
 ナハふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ

方のかたさこころあつちかたあつちかた
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふふふふふふふふ

先一人を二里のうてをま又一人を二里のうて
 をりてりうめ一り集まのよ又集まの

三人一てたうまよ二くうりを廿日つゝまらも
 右むむま二疋よ三人とあそこのかも回数と

分四

あがつりりりりりりりりりりりりりり

あつちかたあつちかたあつちかたあつちかた
 ニつはてあつちかたあつちかたあつちかた

先集れま守じて七集まう守よ三だの入り時
 集のちう守よ二集れりりりりりりりりりりりりりり
 斗をけへあつちかたあつちかたあつちかたあつちかた

海より入て又三年とて一々い入をの事づゝ
たうりしる也

牙四

きぬぬあ人をちりし事



八へつゝさくねん七へんさくさく又七へんさく

わくねん八だんあまうとつよめてぬ守人乃數も
まぬれか守もきんてなり

○ぬ寸人 十五人五光しりふるり

○きぬハ 百十三だんこ

はよ八へんよとくえをうさる時十五りから

いふよぬあ人のあ守十五人とちりべし

牙三

百五けんれ事



あつひご石八十六と時りけ八十六れか守を

しらすきそけ敷うふれごさごと四時よ先七ツ

れハおそまう二ツとつよ○又五つれを

おそま一ツまともよ○又三ツリをぬては二ツ

とつよて三かくりておづりなきいてけ敷

○八十六ありと云也

はよ七ツく引時よお二ツとつよつよお付りハま

一ツと十五のさん用りしと世と垂○又五ツ

引ておてて一ツきより二ツを廿一と
抄き〇又三ツひきておるも二ツありとしよ
七十ツよりして百四十と垂おきよ三口あきせて
百九拾一と時百よあまる時よ百六とふ付
此よりて八十六ありおとあるべし

中四三

杖木よりくひの事

三寸角れ二万本四百廿五付〇これ一四寸角の
二万本をかへてしよ時四寸角ふ程とて四時

〇四寸角或百或拾五本としよ

はよ三寸を左右よ垂くこれと九坪とぬこれと
四百廿五とくこれと三六となる右よ別り垂るり
又ひよりよ四寸を二布り垂くこれと十六とぬ
是にて右の三六をくこれと四寸角或百廿五本と
あるべし



八寸角の三万本七千の時よ五寸角の二万本と

かへし寸右より八寸角の三寸木七寸より五寸角を
かふやどをことよ時り

○五寸角二寸木

寸拾六寸と

○五寸より四寸四分の角 一寸とよ

はよ八寸を左右より垂ろれも六四とちり是よ

三寸とちり時一九二とちり又七寸とくけて

一三四四と成右よりべちよ垂○又右より五寸を

左右よをきろれハ二五と成あよ二寸かられ

五より係是は右より一三四四を五にしてわれ

二十六本といふまをわりてよ一筋を四四をハ

五寸より四寸四分の角といふ



又五寸より四寸四分の角を四角にしてはろん寸
角と四とよきり

○四寸六分あり四方の角といふ

法よ四寸四分より五寸とちり六廿二と成二角を

開平法にしてはれ四方少しなるちり



同五寸より四寸四分角の二寸木を五寸角にして
かろきとふれどに成をことよき

○五一寸四尺九寸四分をいふ

法よ四寸四分より五寸とわれハ二二と成二角を

ちうさされ二万を一丈三寸とありてこれにて右の
二二へくくり時二八六と成別玉又しじりよ
五寸と左右よ垂くくれハ二五とるかふれで右
二八六をよれハ一丈一尺四寸四分とるる是を
一尺のは六尺五寸とてけんまてりりわれハ
右くくくきれし

△
三寸角ハ二万本三百五十四本あり時よ五寸角ハ
二万本と替ひき時り三寸角とまらりよし
五寸角一本付三寸角と一本つとをいようちて
くり時ちうみ十本のくくよ五寸角何れく同

○五寸がく

九段二本と

○五寸よ三寸二分三リむを 一本といふ
はく三寸と左右よ垂くくれハ九り成これと
三百め十本よりくくハ三一五と成是をべちよ垂
しじりよ五寸と左右よ垂くくれハ二五と成是よ
九とくく時三四と成これらそ右く三一五と
刻時九十二本六四七と成六四七といふ
これぬ時五寸と左右よ垂かこれハ廿五とかな
これを六四七よかこれハ十六一七五とるる是を
又五寸にしてこれの三寸二分三リ五毛ゆしちる

六寸角の二尺木と一尺付字糸五寸わりづの寸
六寸角五尺の時右の祿うしてめ尺ハるふわど
ろと回時り

○六寸角を五尺代き糸七寸わりよるふと云
はよ六寸角二尺木乃代字糸五寸ふりよ五尺を
くくは二二七五とたろきを一丈三尺で目ねの
き糸七寸わりやしちるべし

丸木りわく一五寸よ一丈六尺二寸五分を
こねを五寸角よるしてきなふれどに尺と回時
○五寸角一丈三尺りりちるどいふ

法り一丈六尺二寸めらよ八をくくは回時り
一丈三尺とちるど○又七尺をわけてもいふ

五寸角のながき一丈三尺の時丸木りわく
五寸りしちるふわどろと回時

○一丈六尺二寸五分よ尺とソ
法り一丈三尺をハして目ねの石こくくよ
まねじこ○又七尺にして目ねのめく合し

まる木りわく一六寸を時きりて四角
ろしてかふれどに尺と回時り

○五寸三寸角三寸と毛の角よ尺とソ

法一、ひびかり一、二五と並てこれめて右の
 六寸をより附る右のまゝくときるべし
 又五寸之分三、三毛四方ある角をまる木り
 するてろふやとよろろととき附る

○六寸れまる木り、ぬとひ
 法一、右の一、二五と並これと右に五寸之分
 三、三毛よりくれて六寸ときあへし

六寸角乃二、四木、四角、さうづ、よ、うり、ぬ、ま、よ
 平物れ、二尺、よ、あ、つ、き、八、寸、め、か、さ、三、尺、を
 二、尺、を、六、寸、角、二、尺、木、の、ゆ、ま、を、し、て、ひ、く、り、の

か、ふ、や、ご、よ、あ、つ、ろ、ろ、づ、き、と、ふ、時

○平物代、或、格、九、尺、七、分、かり、よ、あ、つ、ろ、と、ひ、か
 法、よ、ひ、く、抽、あ、つ、き、八、寸、五、分、よ、も、二、尺、か、く、れ、は
 一、七、と、成、り、れ、し、か、ん、ご、三、尺、を、く、れ、は、五、一、と、成
 是、よ、四、尺、二、寸、と、く、れ、は、二、一、四、二、と、な、り、し、れ、を
 右、よ、へ、ち、り、し、き、び、び、り、よ、六、寸、を、右、右、よ、め、き、て
 くら、ひ、三、六、と、る、は、是、よ、二、尺、を、く、れ、は、七、二、と、成
 これ、ら、し、て、く、れ、の、二、一、四、二、を、ひ、く、り、し、て、ひ、く、り、し
 寸、拾、九、尺、七、分、かり、し、と、る、べし

中四十四

のまのまらり乃事

のんだ或百米の時一丈あとのりあう五尺のほど
まをりして一丈あとのりあうを或百米のほどを
るまでしめてとる時一尺の寸五寸のまをり
を時五尺の寸を或百米の四尺五寸のまをり
らんろくにしてあうの時

○四尺五寸のまをり或百四拾七米ぬとのりあ
はる五尺をまのり法三一六のりあ
一尺五寸の分二り二毛とぬれを左右のまをり
うれ一尺四寸の坪敷或百のりあ下ろ分三り

五毛六糸八忽四とろり是よ二面とろくぬ時よ
五万下下六拾七坪一分三り六毛八糸とろり
みもろり別よ垂くの又四尺五寸を三一六で
五尺の一尺四寸二分四りとぬれを左右の
かろれを或百下二坪七分七厘七色六糸とろり
是はて右の五万下下六十七坪一分三り六八を
五尺の二面四拾六米九分とぬ九分と一ろく
まをり七ろくとろり

四尺五寸のまをり或百米のまをり
ろこのまをりまをりしてらんろくぬとろり

○五尺より百六十二寸くは尺とひか
 法よ四尺五寸を回き法三一六めてわぬ時より
 一尺四寸より四りとぬきを左右よ垂くうり時
 御ら下二坪せうせり七毛六糸とかなあれよ又
 二百とくくれハ四万五百五十五坪五分二りを
 右よべちよ垂○又五尺の坪右のどくくは
 二百の十下に分三五六八四是で右のをわぬ
 百六十二寸とあるべし

○四合一リき毛あまぐりかなめ
 五尺よりこのうち一寸あまぐり此時なと引よして

○五尺より此内二寸あまぐりの時なと引よして

○三分四リ九毛あまぐり

○五尺よりこのうち一寸あまぐり此時なと引よして

○一より三分一リ六毛あまぐり

○五尺よりこの内四寸あまぐり乃時なと引よして

○一わり三分一リ三毛あまぐり

○五尺よりこの内五寸あまぐりの時なと引よして

○二わり三分四リ五毛あまぐり

○五尺よりこのうち五寸あまぐりの時なと引よして

○五尺よりこのうち一尺六寸あまぐりの時なと引よして

二毛とするは是を左右よ^ま並て^まく^まの^ま或百め^ま下
 三分三リ五毛六糸八^ま忽四と^ま成^ま右よ^まべ^まちよ^ま也^ま
 又四尺五寸と^まま^ま法三一六^まにて^ま止^まれ^ま一尺
 四寸二分四リと^ま成^まこれ^まを^ま左右よ^ま並て^まく^まれ^ま
 或百下二坪七^ま分七^まリ七^ま毛六^ま糸と^ま成^ま是^まや^まど^ま右^ま
 也^ま尺^ま寸^まの^ま坪^まの内^ま引^ま移^まて^ま四^ま拾^ま七^ま坪^ま五^ま分^ま四^まリ^ま余
 是^まと^ま又^ま或^ま下^ま二^ま坪^ま七^ま分^ま七^まリ^ま七^ま毛六^ま糸よ^まて^ま止^ま
 寸^ま二^まリ^まカ^ま三^ま方^ま四^まリ^ま也^ま毛^ま中^まし^まち^まる^まべ^ま
 竹^ま一^ま束^まと^まし^まあ^まハ^まま^まや^まカ^ま一^ま尺^ま八^ま寸^ま也^ま右^まく^まも^ま
 寸^まち^まく^まあ^まり^ま付^まる^まん^まわ^まり^まだ^まぬ^まく^まと^ま同^ま計^ま

一尺八寸と^まして^ま一^ま寸^まち^まく^まの^ま寸^まよ^ま

○一^まわ^まり^ま二^ま合^ま一^まリ^まち^まく^まな^まり

一尺八寸と^まする^まの^まうち^ま二^ま寸^ま也^ま是^まの^ま寸^まよ^まり^ま

○二^まリ^まち^ま六^ま分^ま四^まリ^ま六^ま毛^まち^まく^まな^まり

一尺八寸と^まする^まの^ま内^ま二^ま寸^まち^まく^まれ^まと^まも^まり^ま

○四^まわ^まり^ま四^ま分^まち^まく^まな^まる^まべ^ま

右^ま一^ま尺^ま八^ま寸^まと^まして^ま一^ま寸^まち^まく^まの^ま寸^まよ^まる^まん^まわ^まり
 寸^まち^まく^まの^ま寸^まよ^まり

一尺九寸と^まして^ま一^ま尺^ま八^ま寸^まと^まして^ま

○一^まわ^まり^ま二^ま分^ま四^まリ^ま二^ま毛^まと^まして^ま

二尺五寸四寸半 一尺八寸五分

○二尺四寸三分四厘

ありひ一尺八寸五分

くいと付る二尺五寸五分

あつろがこころ付る

○或長やう六尺五寸

法二尺三寸四分

十二三四五と成そよ

朱平五

やひれあきつゝのつら

や福輝廿六坪

何れに入らると同時

一寸五分むひで二寸

めふつゝの足るなり

右三十六坪よあき

○三万二千八百

はよ四二二五よ廿六坪

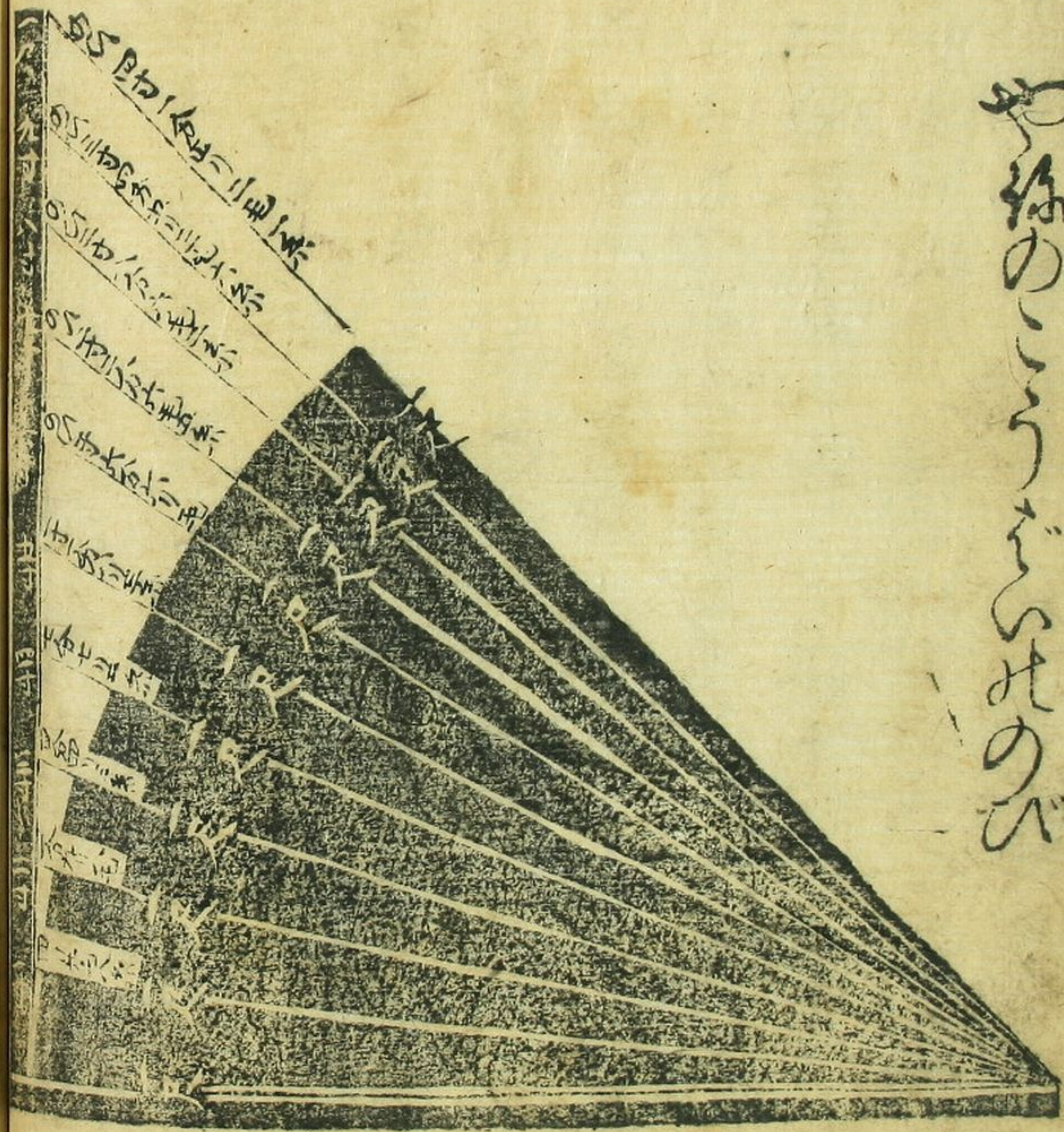
これと右よべちよ

二寸とや福のあき

四五とるは是あて

三万二千八百

巻之三
 扇の作りかたのび



- 九寸五分こうむいひのひ三寸七寸九寸三毛一糸
- 八寸五分こうむいひのひ三寸一分二毛四糸
- 七寸五分こうむいひのひ二寸九分
- 六寸五分こうむいひのひ二寸九分二毛二糸
- 五寸五分こうむいひのひ一寸五分一毛七糸
- 四寸五分こうむいひのひ一寸六分六毛八糸
- 三寸五分こうむいひのひ一寸五分三毛三糸
- 二寸五分こうむいひのひ一寸五分七毛七糸
- 一寸五分 同 一分一毛八糸
- 九分 同 一分二毛四糸九糸

右、算高実法にてわり付垂なり

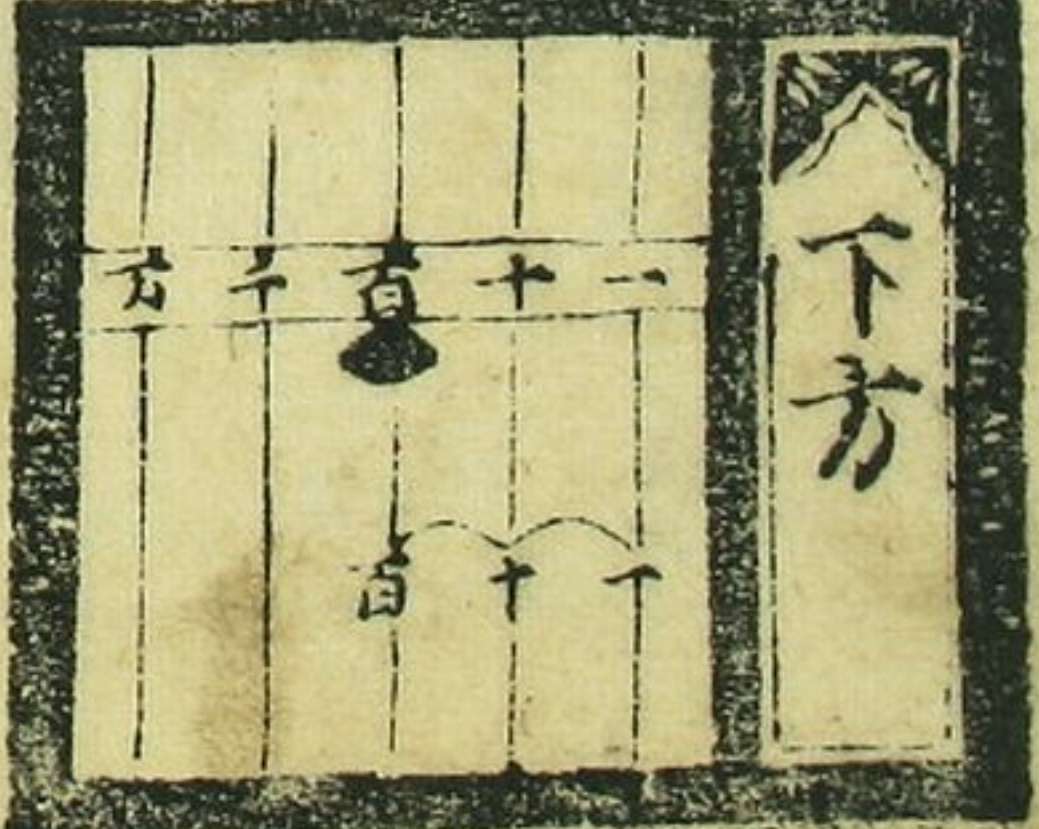
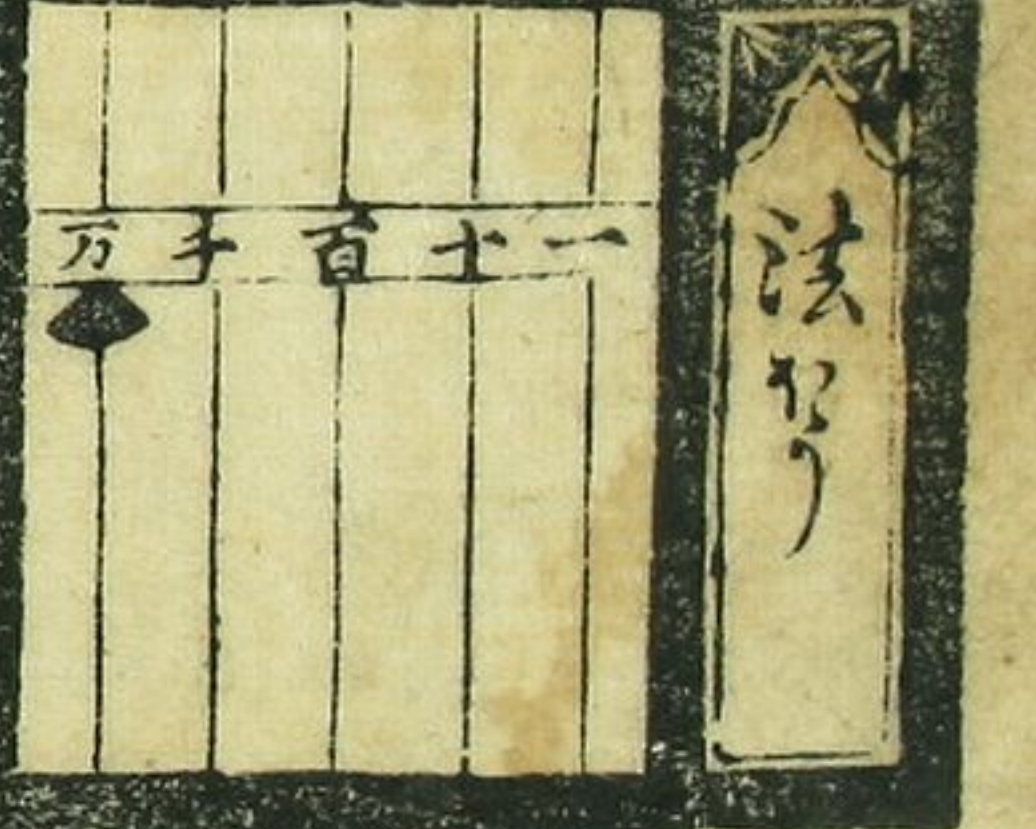
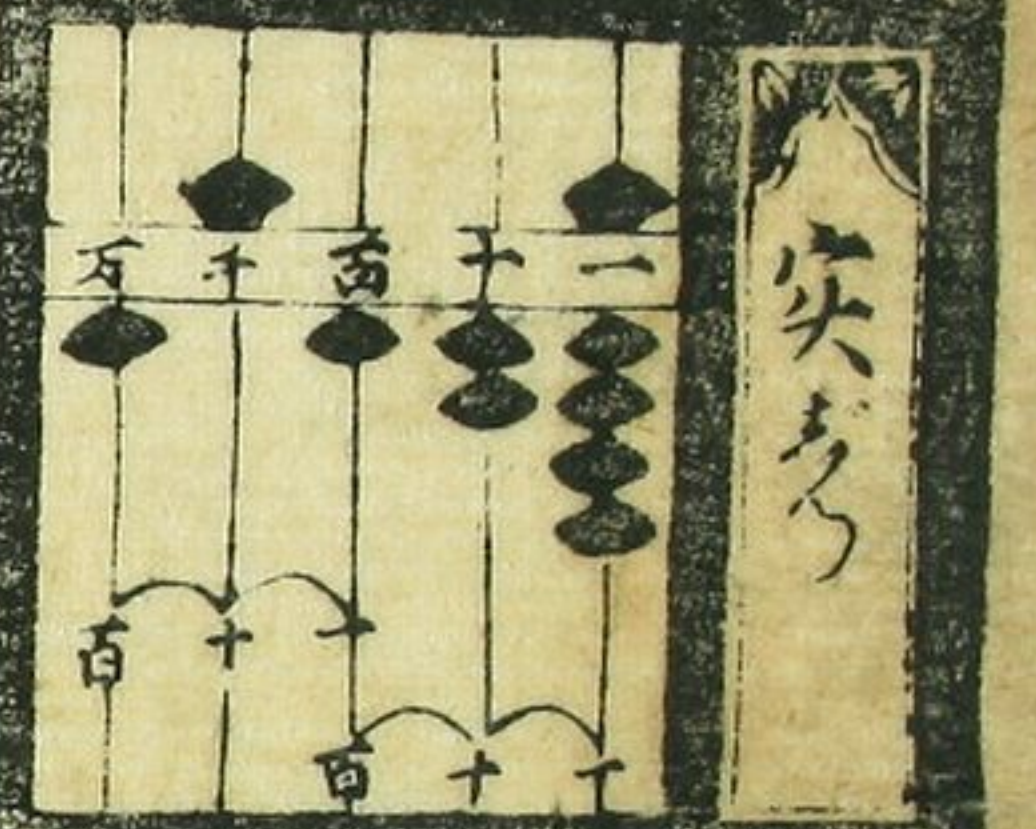
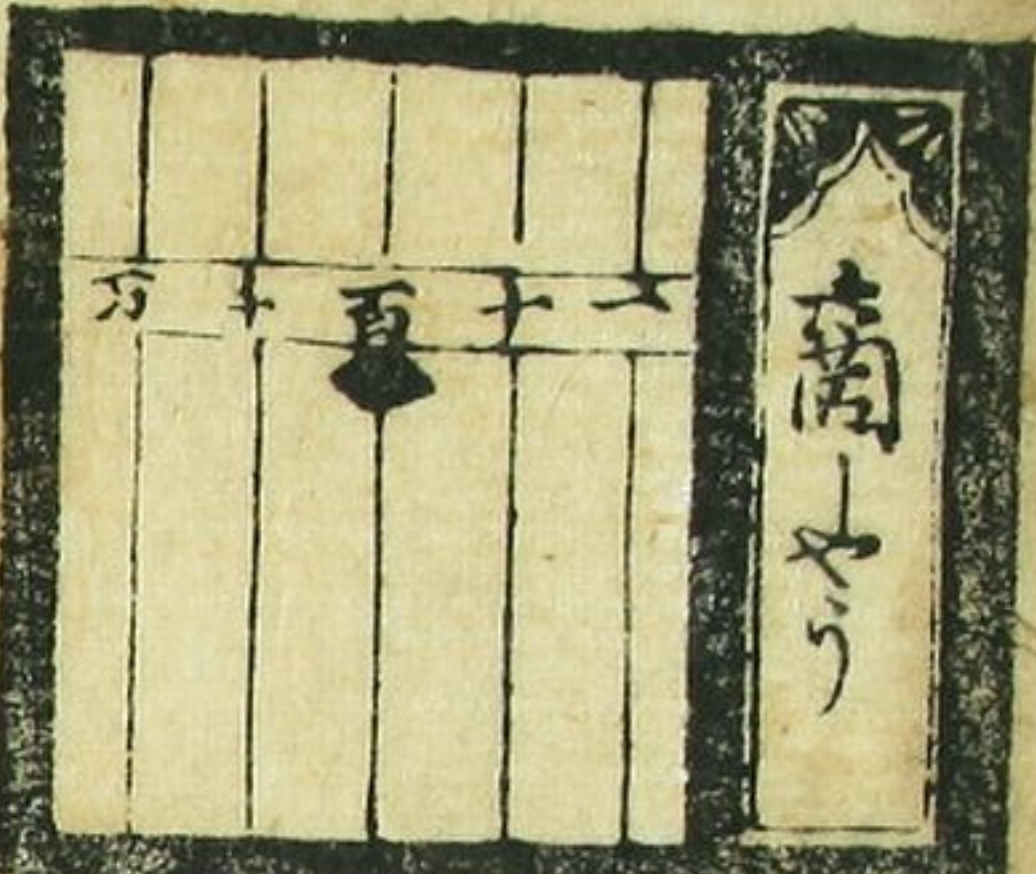
あるひひひれしらのきのけだしその男
三男五寸こうむいようそののびせようふれと
あるがうをさあす

○三男二尺三寸六リハ毛糸糸は短としよ
はよ三男よ方尺五寸むらぬハ一丈ぬ尺五寸とぬ
こゆと五寸こうえいれは寸一分り三糸よ
くられと二尺三寸六リハ毛糸糸となるこれと
三男一くむるなり

開平法

坪敷き万五千百廿九坪あると四方り
うして一方はよりあるがとら
百廿三万四方と云

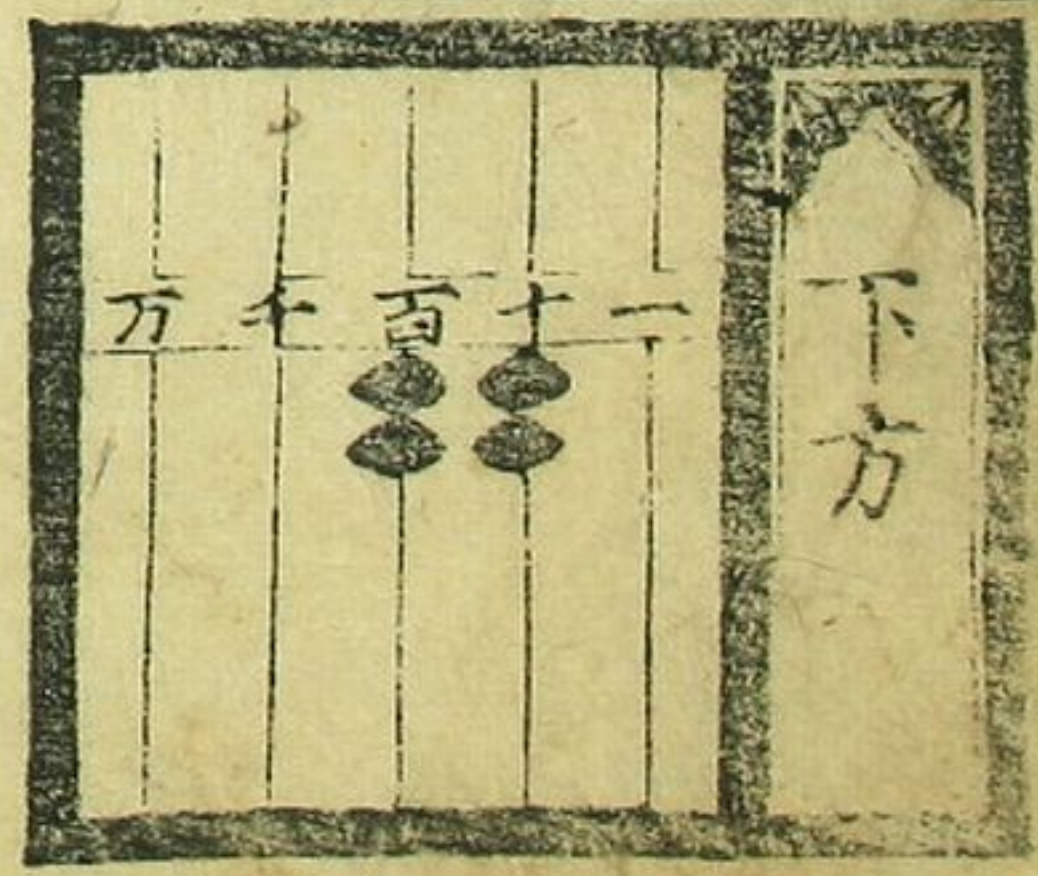
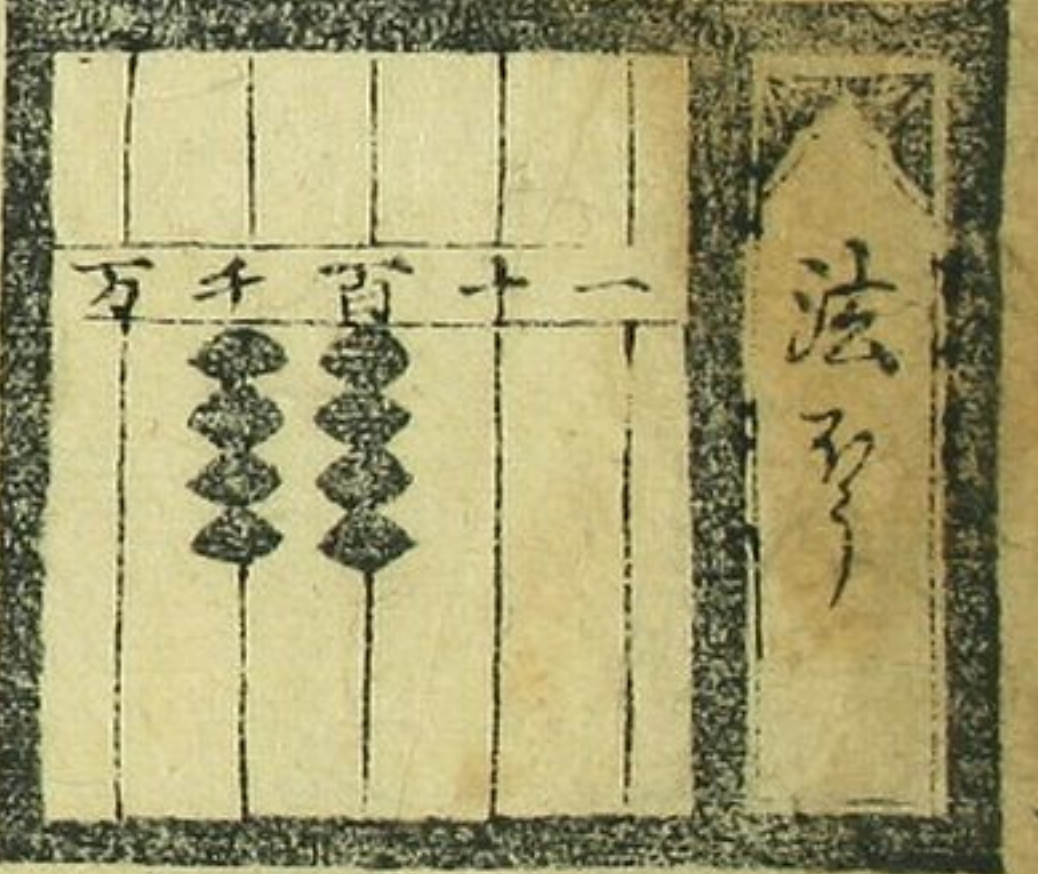
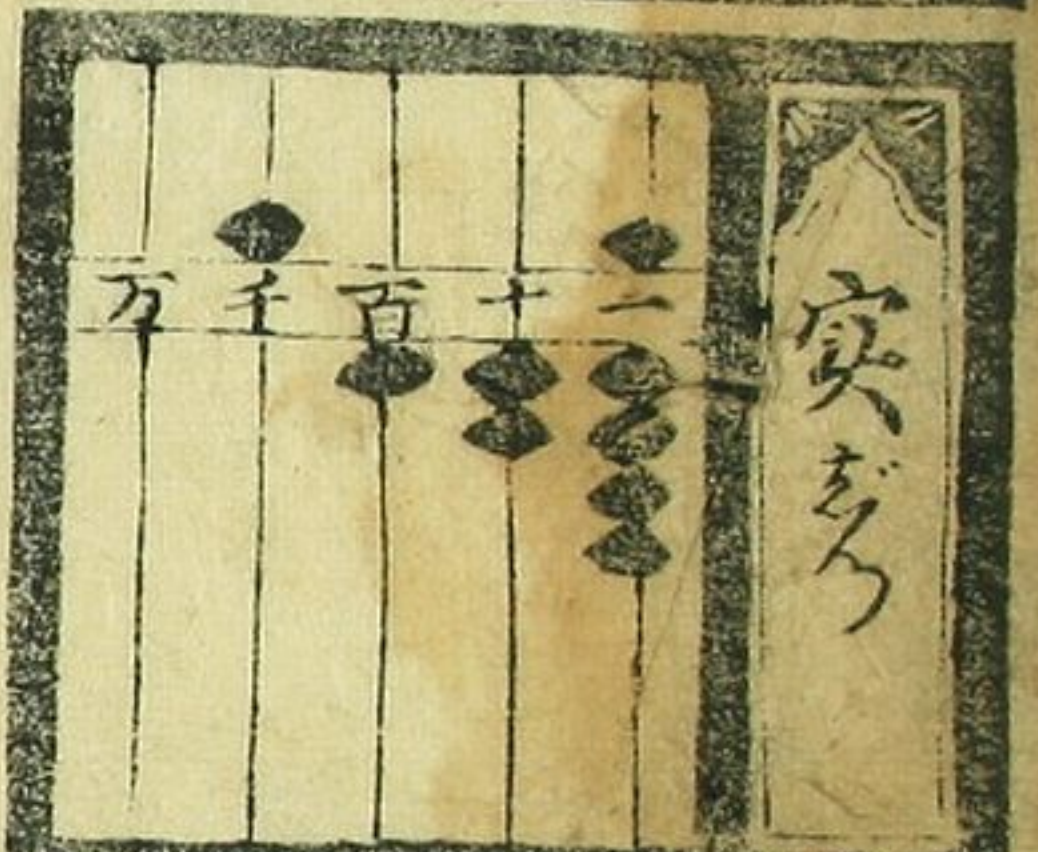
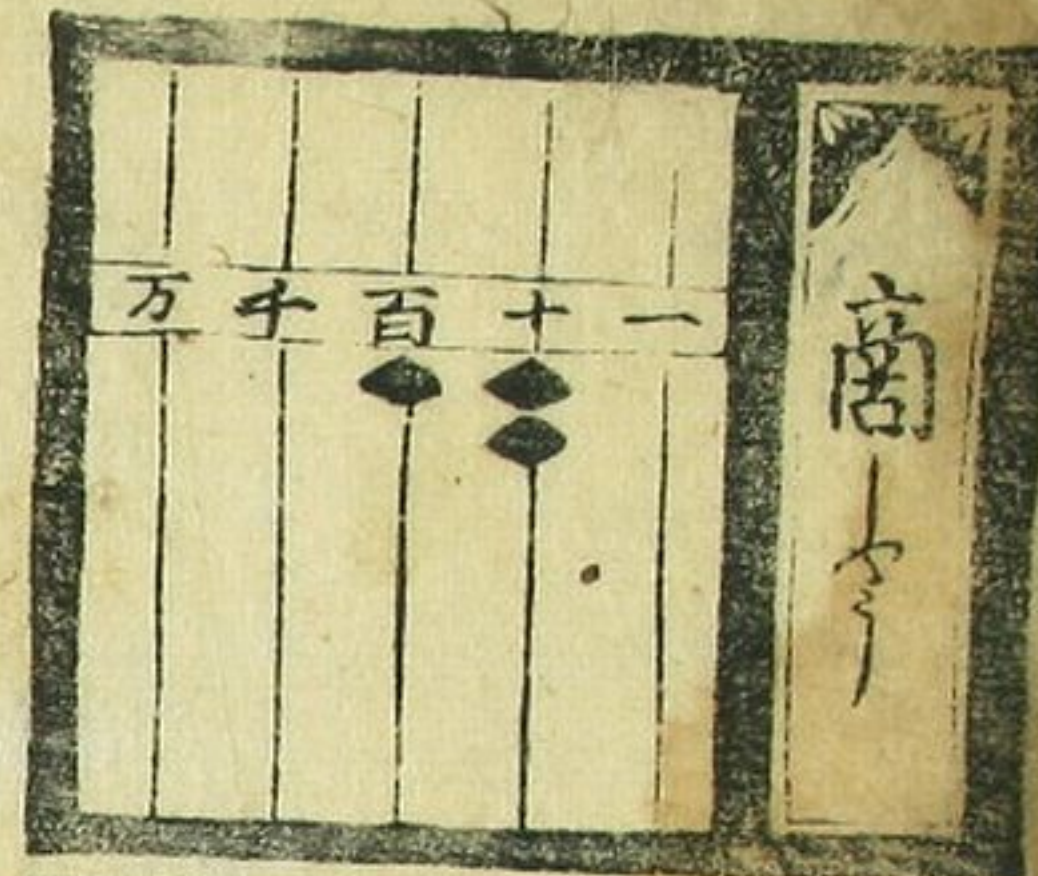
百廿三万	坪	川	坪
百廿三万	坪	川	坪



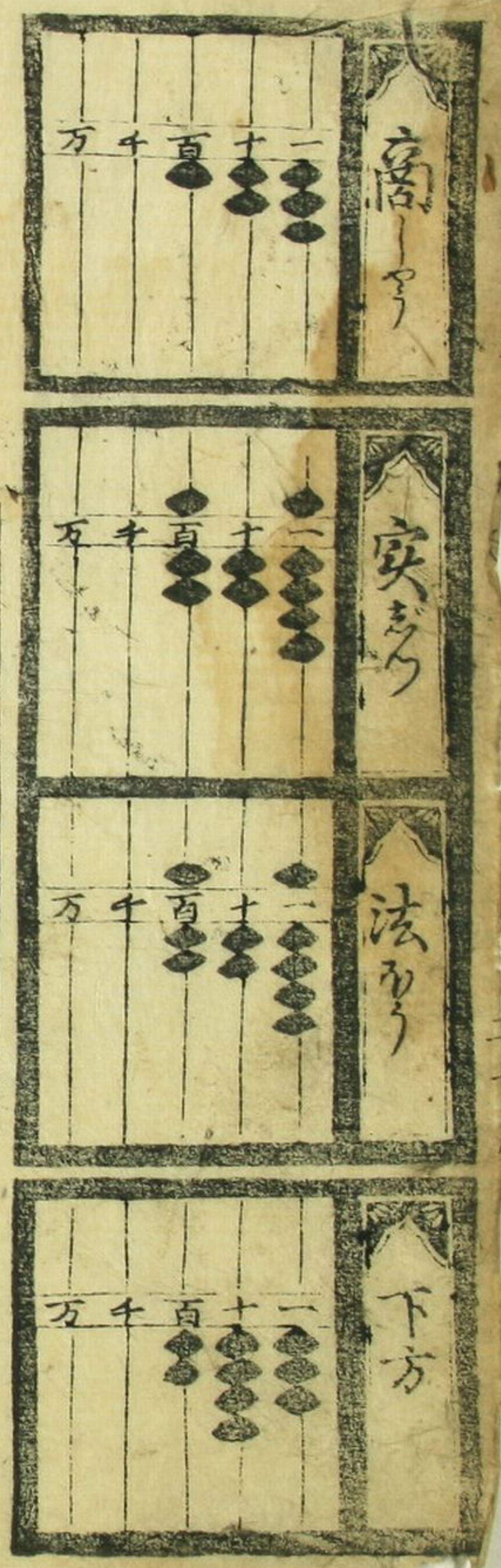
百ひゃく 百ひゃく
 一いち百ひゃく呼よぶ
 百ひゃく

はまのりたか実じつよよ一いち万まん五ご千せん百ひゃく廿じふ九く呼よぶととををよよままるる
 実じつよよれれががうういいととををよよるる二に十じふ百ひゃく二に十じふ百ひゃくととおおくくのの
 いいここよよううにに入いりりててあありりああららわわるる時ときまま入いりりをを高たかにに
 いいのの高たかののううららいいををささししてて高たかはは高たかいいををささししてて
 下した方かたのの乃すなはちち下した方かたににははてて二に十じふ百ひゃくととううにに入いりりてて
 高たかいいととををささししててははににてて下した方かたのの高たかののううららいいののううらら
 よよりり高たかのの百ひゃくとと下した方かたのの百ひゃくとと九く九くよよううににああららわわるる一いち一いち乃すなはちち
 下した方かた呼よぶととははままああららわわるるここれれをを実じつよよままししてていいくくとと

のこりて五千百廿九呼あり



十	四		
二千	一万	百	
	千		
四百	十	千	



百	四	一	万坪
百	廿	二	千坪
百	廿	三	百坪
百	廿	四	十坪

法より高の法より三とよみて下方とハ
 一くしういさげせせと一倍四十とありてけ下よ
 三と地をけ三と高のいま五とありていして五と
 きて又法よいて下方の二而一高の三とよぶ
 二三乃六百と法よ五又下方の四十と高の三
 よぶ三四六百廿と法よ五又下方の三と高の
 三とよぶ三三の九坪とはよ五と七百廿九坪を
 二万と実にして引をくし六百廿三万四千方あり
 開平四法外一車

ありの二尺四方ありのをまるくする一てん

一わしーろふやどよ成りやとよ時り

○二尺二寸五分より

法り一一二五とをきてあぬよ二尺とろろハ

りーわしー二尺二寸五分とかなの

又二寸四方の坪七百十一坪を開平法と云

州ろハきー一とだーろふ程ろく同時り

○三尺ろりなるこ

法り七百十一坪とろよ至て七九にわわえ

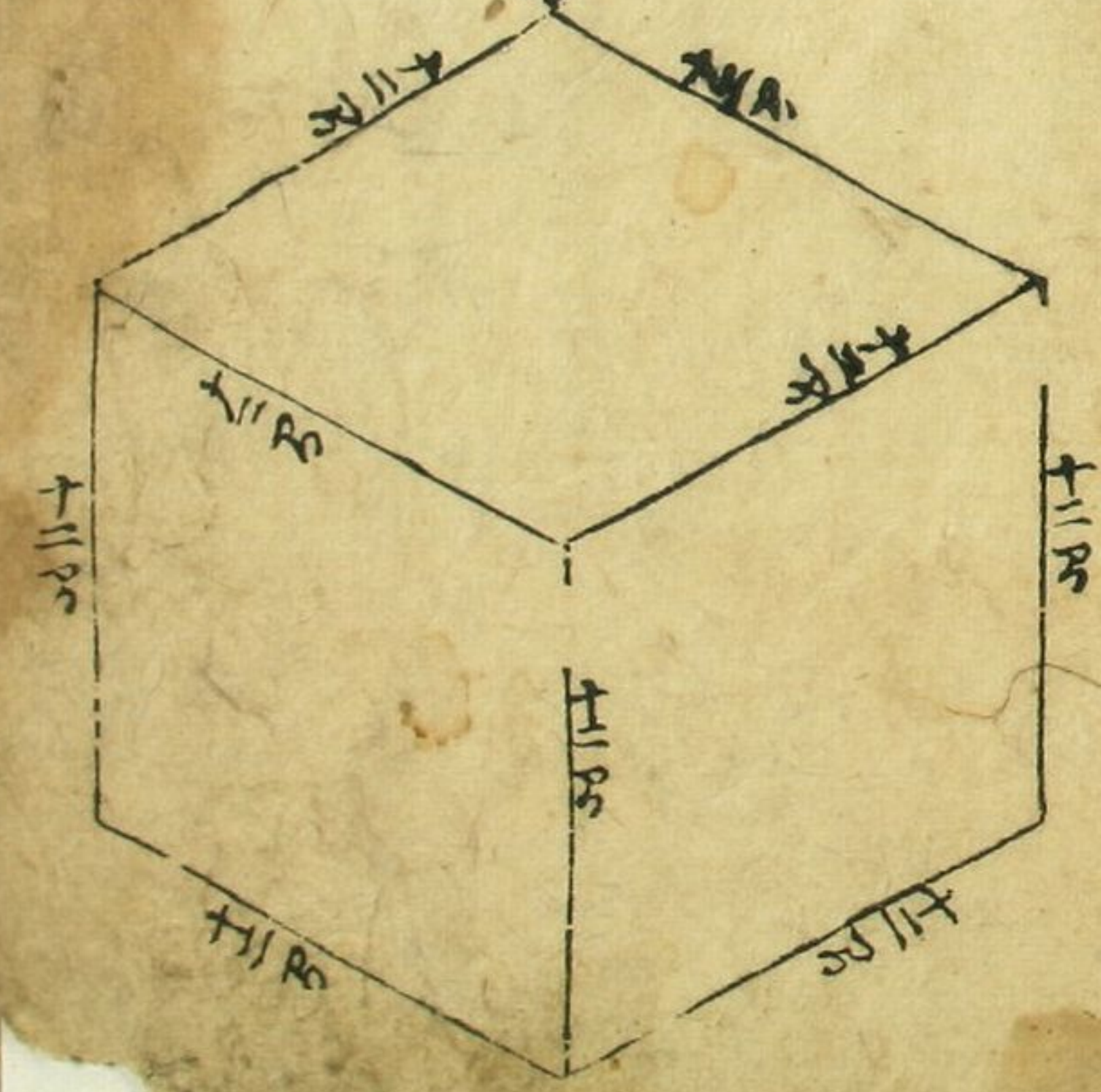
ぬろ坪とろろこれを開平法ゆて日ぬの二尺と

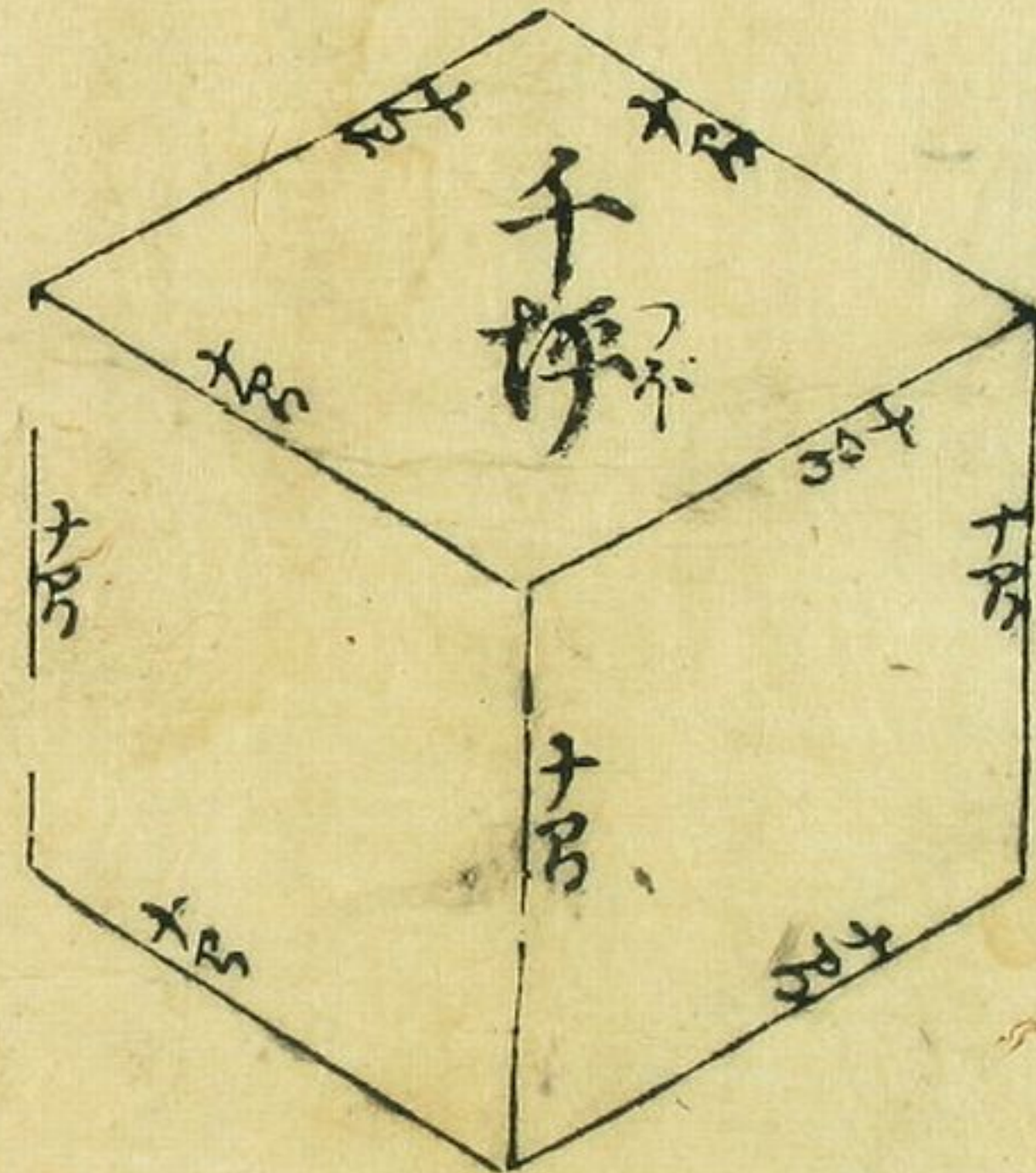
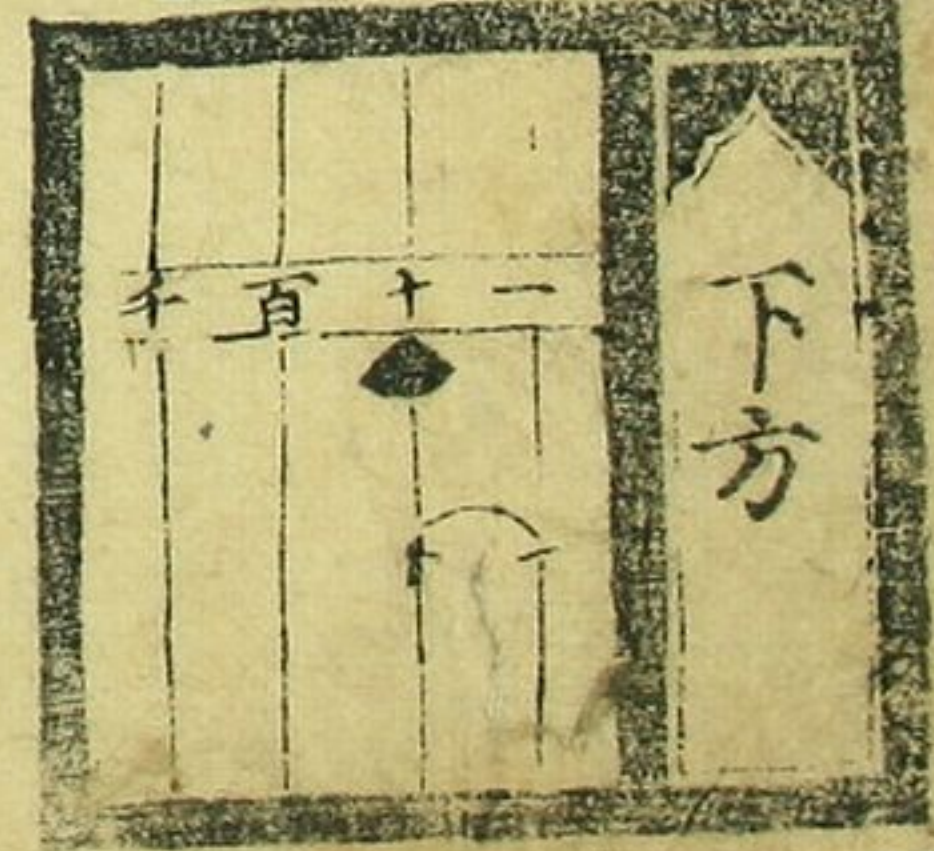
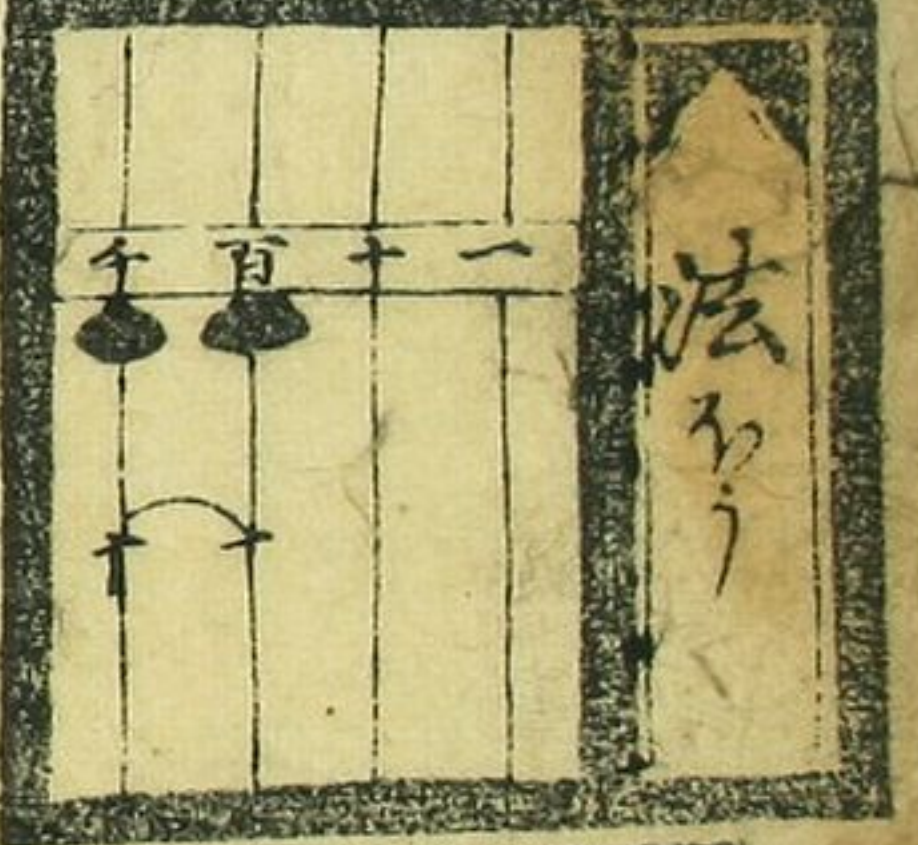
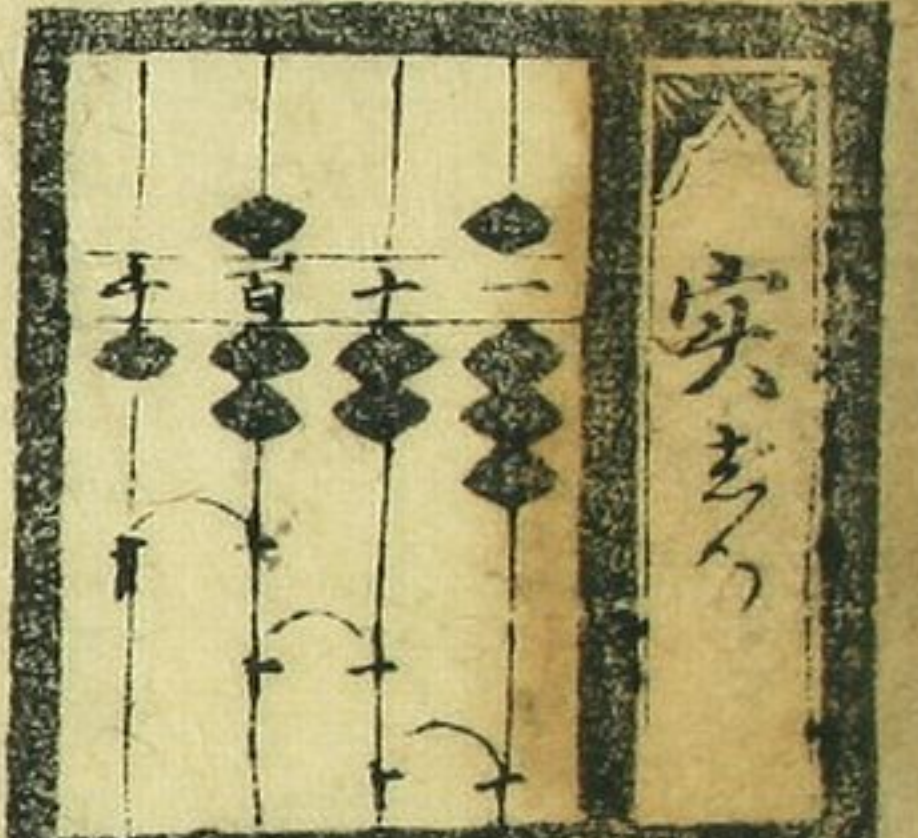
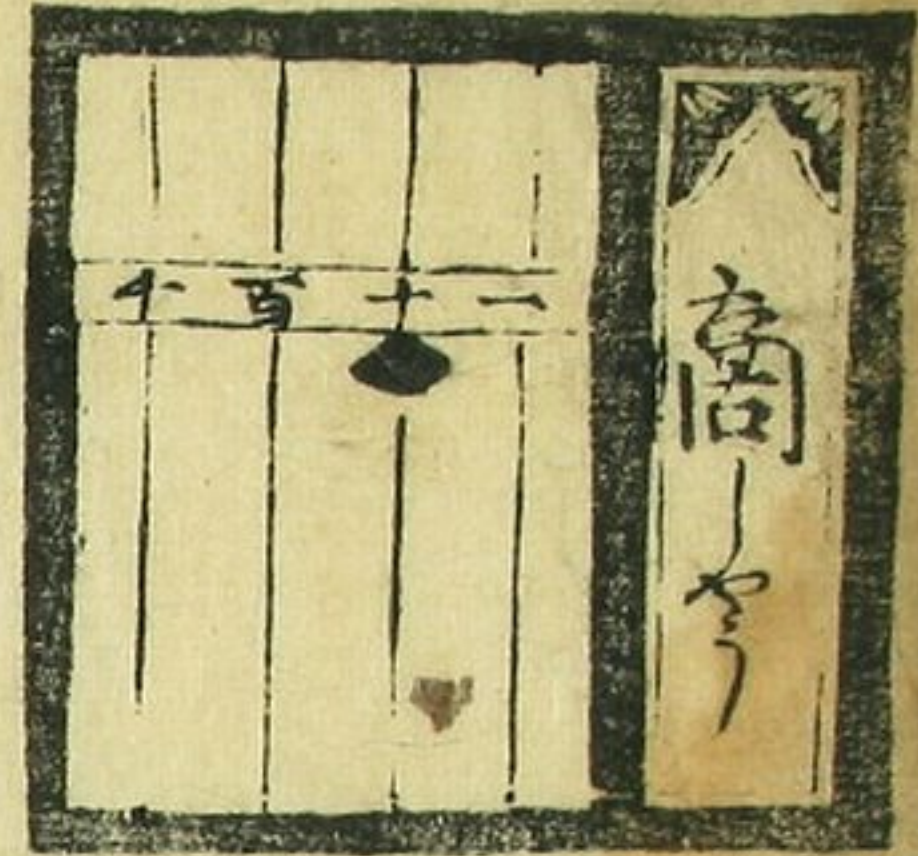
ろろ

開平法

坪敷子七百廿八坪わりのれをろろよこ
だろろもあろーもけよろろ何やどろろ
とよ時よ

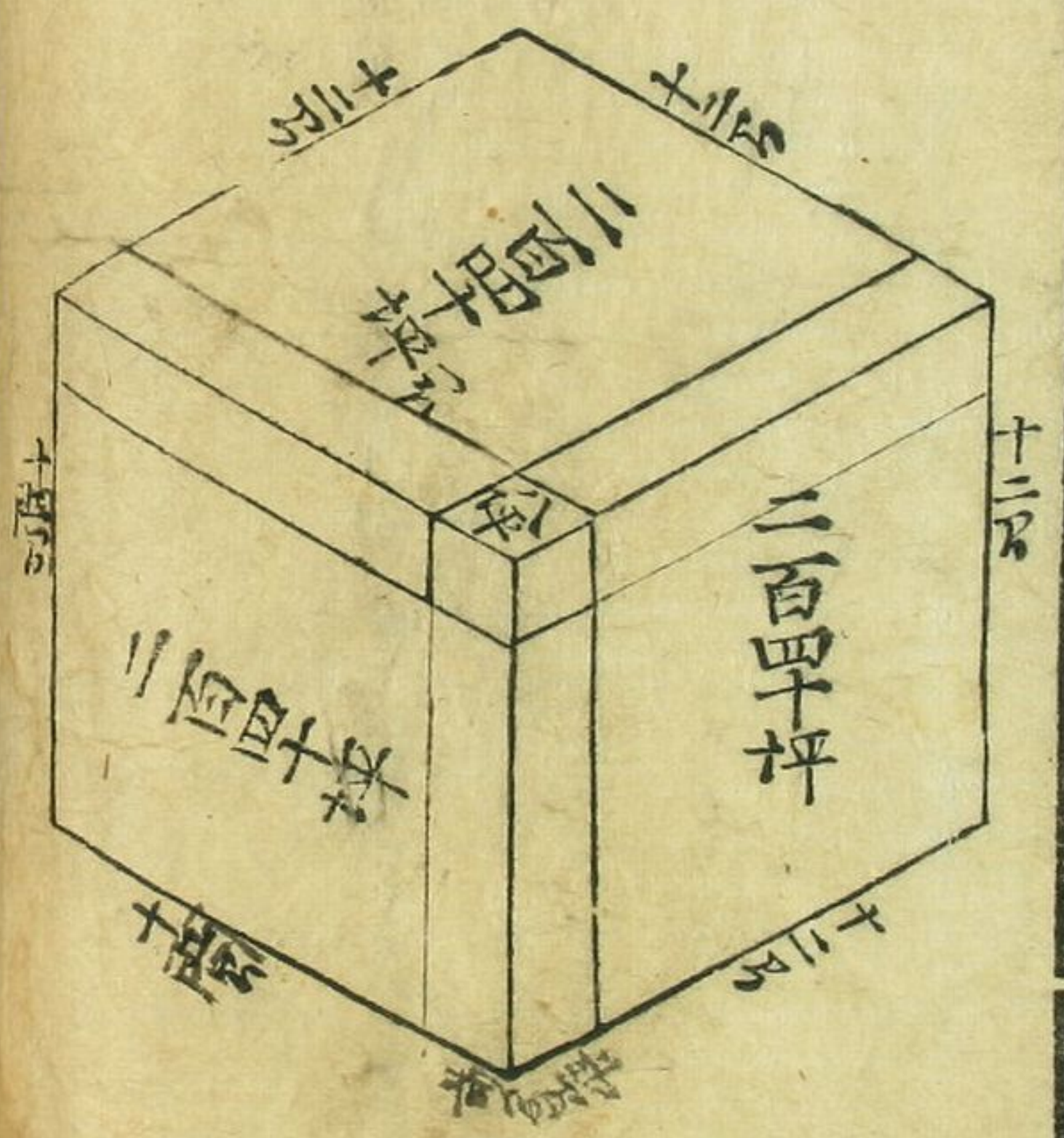
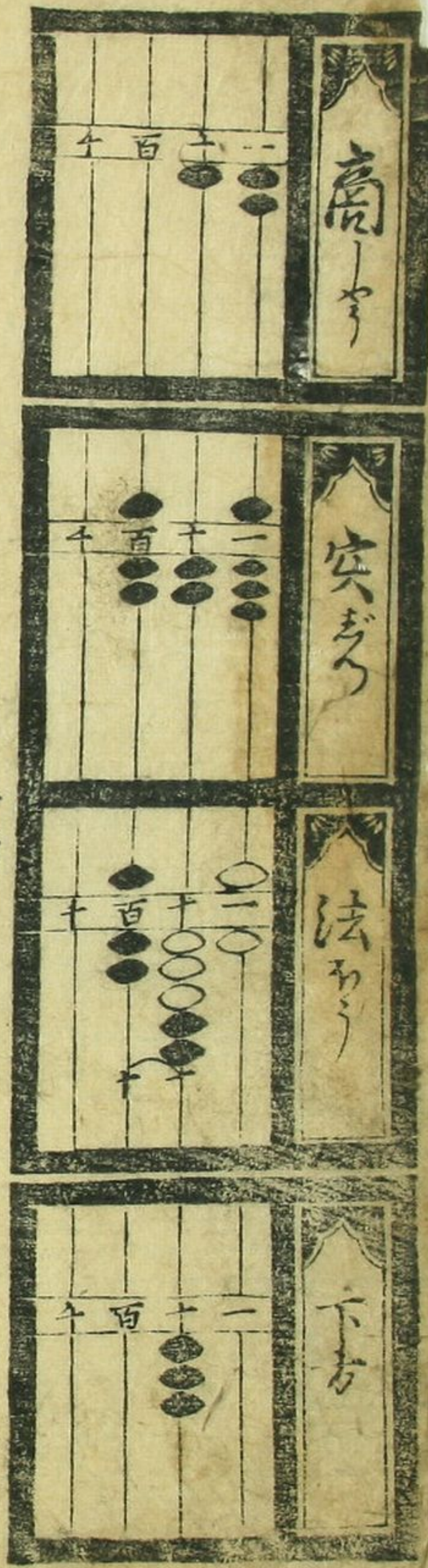
○十二尺四方





法よりふ実より千七百廿八呼とをさしてまろ実を
 くらういを知る二十二十とをばらぬらうよ
 うすへてあがりみろ時よ十とつら十のくらうい
 まろ高より十とをさして又下方より二十とあり
 十とをさして下の高の十とをさして十とをさして
 ざして法より下の方の十と高の十をさして
 一一の百とをさして又法の百より二十とをさして
 わづらして法の百より高の十をさして一一の十呼と
 するなりこれを実より引くも
 〇法より七百廿八呼あり

三十一
 三十一



けよつゝ高十のつきよ二立てて下方の十を
 三双倍し此とあへてよき一くしよいさげてよ
 又法にて下方の此より高の十とよふ一三此
 此とけよ又け此此はききりいて下方の此よ
 高の二とよふ二三の六とよき又法の此より
 一十とくつへのちりいて法の三十より高の
 二りり三十一よよ二三の六百と並て又法の
 六より一十とのちりいて法乃六一高の二と
 かくる二六の面此と並て七百北よりりこの
 実にてりりよよ。おて八坪ありこのをハ

小節より先法にて商比二と法も二と
法の二より商の二とみけ二此四と法一と
又ある商の二とみけ二四の八坪とあり
これと実とをひき拂うり

此新編塵劫記

吉田光由

開板鏤梓

以壽其傳自今以後行于世為算法

指南者如合符節後生勲旃勿輕忽

于時寬永第四曆龍集疆梧單闕

仲權好目辰西嶺舜岳野釋玄光

以跋

款回良菴玄子開板

